

止めよう!上関原発! 2020年11月3日

村岡知事は、海上ボーリング調査の許可を取り消して!

村岡・山口県知事が、10月30日に中国電力に出した海上ボーリング調査の許可は、新たに原発を建てるためのものです。村岡知事は、原発建設政策を進めようとしています。同意も補償もなしに漁民の財産権を侵害する公有水面埋立てとそのための海上ボーリング調査は、違法です。

原発は、福島原発が示しているように事故を起こします。今度、事故を起こせば終わりです。私たちは、海上ボーリング調査の許可を取り消し、上関原発計画の白紙撤回を求めます。

11月4日から来年1月28日まで行われようとしているボーリング調査を前にして、平生町の上関町へ向かう交差点で12年間、毎朝、辻立ちをしている小中進さんが、呼び掛けています。「田ノ浦海岸では、ボーリング調査の監視・清掃活動・自然観察・釣り・砂遊びなど自然を満喫することができます。弁当や飲み物を持って集まってください。宿泊希望者は寝袋を持参願います。コロナ感染防止、防寒対策が必要です。」

連絡先⇒小中進さん 原発発いらん!山口ネットワーク代表(090-8996-8378)

上関町からは、

祝島島民の会が、ブログとツイッターで訴えています。 島民の会青年部ツイッター↓



【発行】いのち・未来うべ 〒755-0029 山口県宇部市新天町1丁目2-36
宇部市民活動センター「青空」内 TEL 080-6331-0960 (安藤)
ブログ: <https://blog.goo.ne.jp/nonukes2013>

一番安全な避難計画は、原発がないこと

いのち・未来うべ 岡本 正彰

祝島へ行くには、上関町室津の港から船に乗ります。

船の中から山の方をみると、中腹より上、山頂に近いところに大きなビルがあります。「なんですか?」と聞くと病院だと教えてくれました。

あとで調べると原発の計画地から10キロ前後のところ、平生町で、病床920を越える大きな病院でした。入院されている人、看護師さんなど従事されている人はどのくらいいるのでしょうか。また、さらに柳井市側には、病床280の国立柳井医療センターもあります。原発の計画地からは20キロ以内です。柳井医療センターには、医療ケア児を対象とした田布施総合支援学校の院内学級があります。

これは、大変だなあ、と思いました。

というのは、福島原発事故で放射能が降り落ちる中、障がい者や高齢者が、病院や施設に置き去りにされた事実があるからです。高齢者や障がい者の命に関わる問題です。実際亡くなったかたもいます。さらに深刻なことは、サポートしている若い従事者が、高齢者や障がい者を置き去りにしてしまっただけ逃げたことを、ずっと気にして未だに立ち直れず、心の病を抱えていると報道されていたからです。

原発は事故を起こします。

原発を進める人は、原発の事故に備えて避難計画を立てると、一応は言います。訓練もされるようです。

でも、一番よい避難計画は、私のような重度障がいがあるもの、さらに高齢者も、そしてなによりも、サポートする人たちも、放射能から逃げることを心配しないでよいこと、つまり、一番よい避難計画は、そもそも事故の元になる原発が無いことだと思います。

上関原発計画を止めましょう。全国から原発をなくしましょう。一緒に声をあげましょう。